

## 第 13 回学校関係者評価委員会

日時：令和 8 年 3 月 26（水） 15：00～

場所：下関福祉専門学校 3 階

出席者

富田 陽治	一般社団法人山口県介護福祉士会	下関ブロック長
杉本 裕治	社会福祉法人社会福祉法人 やまばと会員光園	総務部長
田尾 真	小月商工振興会	顧問（元会長）
小西 勇也	下関福祉専門学校	同窓会副会長
関谷 豊	下関福祉専門学校	校長
藤岡 恵子	下関福祉専門学校	参与
長本 幸子	下関福祉専門学校	教務主任
安田 富美代	下関福祉専門学校	専任教員
木村 薫	下関福祉専門学校	事務局

以上順不同敬称略

### 1. 開会

挨拶 下関福祉専門学校 校長

今年度の卒業、入学の状況報告

令和 7 年度卒業生 24 名（うち留学生：※4 名）

令和 8 年度入学生 21 名（うち留学生：※4 名）※ミャンマーより

令和 7 年度の卒業生 24 名は、無事に 100%、全員が就職を達成した。

また、来年度の入学生は計 21 名であり、うちミャンマーからの留学生が 4 名である。

新聞報道等によると、養成校卒業後は介護福祉士として登録はできるが、就職している 5 年の内に国家試験に合格する必要がある。つまり介護福祉士としての名称を用いながら 5 回は受験のチャンスがあるということを養成校のメリットとして捉えたい。福祉の現場を守るためにこれからも頑張っていきたい。

下関学院グループの姉妹校に立修館高等専修学校があるが、6 年間連続で第一次募集で定員いっぱいになるほど、近年とても人気がある。令和 7 年度は e スポーツ部が世界大会で世界一位になり、山口県知事、下関市長に表敬訪問を行った。実は立修館の新入生の一番人気は今年度は福祉科であった。その多くは保護者が福祉の仕事をしている家庭で、おそらく福祉業界で働く保護者からやりがいのある仕事であると感じ、希望しているのだと思う。

福祉の仕事には大変なこともあるけど楽しいこともある、やりがいもある、そういうことを学生に伝えていきたいと考えている。

### 2. 委員の出席状況の確認

全委員の出席を確認する。

### 3. 自己評価報告

今年度は、人間関係の構築をするための重要な要素としての挨拶及び礼儀を大切にすること、また、築いた良好な人間関係から得られたその人らしさを尊重することを目標とした。しかし、個人差がありもともと日常生活において挨拶をする習慣がないことから、挨拶ができず礼儀も損なっている学生もおり、その都度指導を行った。よって今年1年間を通して見ると、十分ではないが改善は少しずつみられてきたと思われる。2年生に至っては自らの倫理観を形成する事が出来ていると思われる。コミュニケーションに対しては、実習を通し各学年ともチームケアの大切さとチームケアの一員であることを認識し、TPOに合わせた対応方法を実践しようとする努力を感じることができた。1年生は、訓練生と留学生の意識が高く他の学生に良い影響を与えており専門職としての役割を認識することはできた。2年生は、一対一になると学んだ知識や技術が活かされず根拠に対してあやふやな学生がいたが、専門職としての役割については考えて行動することができた。

本校は、今後の求められる介護人材を増やす目的として努力を行っているが、近年本校の入学者は大幅な定員割れが長く続いている。入学者増とともに定着率にも対応していくために、他の学校との差別化やサポート体制の強化など今後検討していく必要がより増している。差別化の一つに国家試験の合格率や充実した学生生活などが挙げられ、ハードとソフト面の両方で検討していくことが求められる。また、定着率については学生の個々の心身の状態に応じた個別のサポートも必要になってくる。それらを踏まえ学生を指導していく我々教員にも、ICT化などの先端知識が求められるとともに、学生に対する対応の仕方など資質の向上を常に行っていかなければならず、これが今後の課題となると考える。

### 4. 各委員による学校評価実施

各自提示された資料をもとに、学校評価票に記入される。

### 5. その他

\*次回は令和9年3月開催予定

# 2025年度下関福祉専門学校学校評価

## 1. 学校の教育目標

努力・礼節・奉仕の三信条のもと、人に信頼され、かつ人を愛し、人を信頼する人材を育成する。

高齢者や介護の必要な方など福祉の多様化に対応できる介護福祉士を育成し、福祉の現場を支えて社会に貢献します。

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

1.介護が必要な対象者の特性を理解し、挨拶や礼儀を通して尊厳とは何かを考え、個々の倫理観を形成することが出来る。

2.対人関係の基礎となるコミュニケーションの方法を学習し、チームの一員としての役割を理解することが出来る。

3.介護実践に必要な知識や技術を学習し、援助の根拠を理解し、専門職としての役割を学ぶことが出来る。

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

### (1) 教育理念・目標

	評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
ア	・学校の理念・目的・育人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 3 2 1
イ	・学校における職業教育の特色は、明確になっているか	4 3 2 1
ウ	・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 3 2 1
エ	・学生・保護者に対して教育理念等明文化し、周知しているか	4 3 2 1
オ	・教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか	4 3 2 1

## (2) 学校運営

	評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
ア	・教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 3 2 1

イ	・運営方針に沿った事業計画が策定され、共有しているか	4 3 2 1
---	----------------------------	---------

ウ	・運営組織や意思決定機能は明確化されているか、有効に機能しているか	4 3 2 1
---	-----------------------------------	---------

エ	・運営会議（教職員会議、教員会議等）が定期的に行われているか	4 3 2 1
---	--------------------------------	---------

オ	・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 3 2 1
---	---------------------------------	---------

カ	・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 3 2 1
---	----------------------------------	---------

キ	・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 3 2 1
---	---------------------------	---------

ク	・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 2 1
---	----------------------------	---------

## (3) 教育活動

	評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
ア	・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 3 2 1

イ ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか (4) 3 2 1

ウ ・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか (4) 3 2 1

エ ・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか (4) 3 2 1

オ ・関連分野の企業・関係施設等や業界団体との連携により、カリキュラムの見直し等が行われているか (4) 3 2 1

カ ・関連分野における実践的な職業教育(実技・実習等)が体系的に位置づけられているか (4) 3 2 1

キ ・授業評価の実施・評価体制はあるか (4) 3 2 1

ク ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか (4) 3 2 1

ケ ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか (4) 3 2 1

コ ・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか (4) 3 2 1

サ ・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか (4) 3 2 1

シ ・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか (4) 3 2 1

ス	・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導育成など資質向上のための取組が行われているか	4 3 2 1
---	---	---------

セ	・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 2 1
---	-------------------------	---------

#### (4) 学修成果

	評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
ア	・就職率の向上が図られているか	4 3 2 1

イ	・資格取得率の向上が図られているか	4 3 2 1
---	-------------------	---------

ウ	・退学率の低減が図られているか	4 3 2 1
---	-----------------	---------

エ	・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 3 2 1
---	-----------------------------	---------

#### (5) 学生支援

	評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
ア	・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4 3 2 1

イ	・学生相談に関する体制は整備されているか	4 3 2 1
---	----------------------	---------

ウ	・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 3 2 1
---	--------------------------	---------

エ	・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 (3) 2 1
---	---------------------	-----------

オ	・課外活動に対する支援体制は整備されているか	(4) 3 2 1
---	------------------------	-----------

カ	・学生の生活環境への支援は行われているか	4 (3) 2 1
---	----------------------	-----------

キ	・保護者と適切に連携しているか	4 (3) 2 1
---	-----------------	-----------

ク	・卒業生への支援体制はあるか	4 (3) 2 1
---	----------------	-----------

ケ	・社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 (3) 2 1
---	------------------------------	-----------

コ	・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	(4) 3 2 1
---	---	-----------

(6) 教育環境

評価項目		適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
ア	・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 (3) 2 1

イ	・防災に対する体制は整備されているか	(4) 3 2 1
---	--------------------	-----------

### (7) 学生の受入れ募集

	評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
ア	・学生募集活動は、適正に行われているか	4 (3) 2 1
イ	・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	(4) 3 2 1
ウ	・学納金は妥当なものとなっているか	(4) 3 2 1

### (8) 財務

	評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
ア	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	(4) 3 2 1
イ	・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	(4) 3 2 1
ウ	・財務について会計監査が適正に行われているか	(4) 3 2 1
エ	・財務情報公開の体制整備はできているか	(4) 3 2 1

### (9) 法令等の遵守

	評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
ア	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	(4) 3 2 1
イ	・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	(4) 3 2 1
ウ	・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	(4) 3 2 1

(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
ア	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 3 2 1

イ	・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 3 2 1
---	-------------------------	---------

ウ	・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4 3 2 1
---	--	---------

(11) 国際交流（必要に応じて）

	評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
ア	・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4 3 2 1

イ	・留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4 3 2 1
---	---------------------------------------	---------

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果